

帯電防止対策ワイパー Eleston α

製品の特長

- * Eleston αでワ化[®]ングするだけで、清掃に加えて、対象物の除電と長期間帯電しにくい状態を作り出すことが可能です。
- * 強制帯電させても、ほとんど帯電を起こしません。
- * ガラス面、疎水性プラスチック及び、樹脂製品への効果が期待できます。(撥水性のある物質やコーティングには塗布できません)
- * 水で洗い流すか、摩耗するまで効果が続きます。



*注1:対象物の材質により効果が変わるので、効果を検証した上で、ご使用ください。

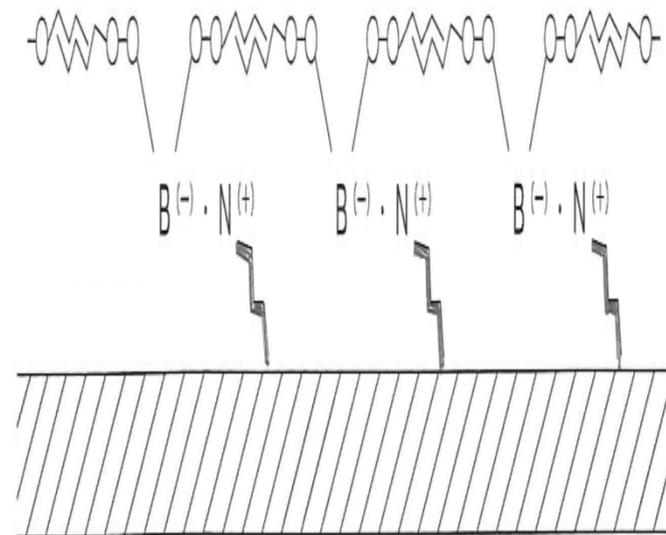
従来型帯電防止剤との比較

種類	構成原料	延展性	持続性	説明
Eleston α	杓素化合物 + 第三級アミン	◎	◎	杓素化合物による優れた延展性と第三級アミンの高い固着性により、長時間の除電力を実現します。
従来型帯電防止剤	界面活性剤	△	△	従来の界面活性剤は、延展性と持続性に限界があり、時間が経つにつれ、除電力が低下します。

従来品のイメージ



Eleston αのイメージ



検証項目・方法

項目	方法
減衰時間	5KVに帯電プレートモニターに各処理を施したアクリルボックスをのせて、100Vまで落ちる時間を計測。
抵抗値	各処理を施したアクリルボックスの表面抵抗値を測定。
移行性(転写)	アクリルボックスにパウダービーズを投入し、一定回数シェイクした後の状態を確認。

*試験室湿度:51.3%

減衰時間

* 5KVから100Vに減衰する時間を測定。

	未処理ボックス	従来型帯電防止スプレー処理ボックス	Eleston α処理ボックス
減衰時間	60秒以上	60秒以上	2秒
60秒後			
帯電量	1.195KV (61秒後)	756V (121秒後)	28V (2秒)

従来型帯電防止スプレーでは長い減衰時間を要したが、Elestonでワイピングしたボックスは瞬時に減衰できた。

表面抵抗値

未処理ボックス



$3.2E+13$

従来型帯電防止スプレー処理ボックス



$5.0E+10$

Eleston α処理ボックス



$2.5E+10$

Eleston αと従来型帯電防止スプレーは、ほとんど同じ抵抗値であった。
しかし若干、Eleston αの方が良かった。

移行性試験

アクリルボックスにパウダービーズを入れ、500回シェイク。



Eleston α Transfer test.m

帯電防止スプレーは、その成分がパウダービーズに移行したと推察される。
一方、Eleston αは、その成分のパウダービーズへの移行が少ないと推察される。